



巴川（千歳橋）だより



2025 年(R7)
12 月 1 日発行

No. 1

発行・問合せ先: 〒422-8031 静岡県静岡市駿河区有明町2番20号 静岡総合庁舎内

静岡県静岡土木事務所 河川改良課: Tel 054-286-9364

※このたよりは、千歳橋周辺の自治会の皆様方にお届けしている他、静岡土木事務所ホームページ等でも公開しています。

巴川の下流部の改修に伴い 橋の架け替えを行います。



令和7年3月、5月に開催した事業説明会の中で、県に対し多数のご質問やご要望をいただきました。

県としては、ひとりでも多くの方と情報を共有し事業についてご理解いただきながら事業を進めていきたいと考え、このたび、ニュースレター「巴川（千歳橋）だより」を発行することといたしました。

今回は、説明会でいただいた疑問や不安等に対するご意見・ご質問等を整理し、問答集（Q & A）という形で皆様方にお伝えします。

今後、説明会等の開催やニュースレターを活用し、随時千歳橋の架け替えについて、お知らせしてまいります。

県は巴川流域における被害軽減に向けて、葵区で進める麻機遊水地の整備に加え、河口から 6.6 km（大内遊水地の辺り）までの川底を掘り下げる河道拡幅工事を令和3年から進めております。

令和4年9月台風第15号では、清水区を中心に甚大な浸水被害を受けたことから、川底を掘る事による河道拡幅工事を早急に進めることとし、6.6 kmの区間の中でも最も洪水を流す能力が低い千歳橋を架け替えて治水能力を向上させることとしました。

この事業は、清水区における浸水被害を軽減する上で重要な事業であり、巴川流域全体に係る多くの皆様方のご理解ご協力のもと、連携して進めてまいります。

千歳橋の架け替えについて説明会 問答集

この問答集は、3月～5月の説明会での皆様方からのご意見を整理させていただき、できるだけ分かりやすく問答形式でまとめたものです。



■目次

①計画に関するQ & A

- 問1. 千歳橋よりも先に優先して架け替えすべき橋があるのではないのでしょうか？ 3
- 問2. 川底を掘るために橋を架け替える、ということでしょうか？ 3
- 問3. 橋があるから洪水が氾濫するというのではないと思いますが、いかがでしょうか？ .. 3
- 問4. 令和4年9月の台風第15号の際、大谷川放水路の一部が機能していなかったという話を聞きましたが本当ですか？ 3
- 問5. 3月の説明会で橋の両端が約2m上がると聞き、高さを下げるよう意見しましたが、現在の検討はどのような状況ですか？ 3
- 問6. 現在提示されている案から変わる可能性はありますか？住民の意見は反映されますか？ . 4
- 問7. 大雨は数年に一度であるので、大雨の時だけ橋を上げる仕組みはできないか？ 4
- 問8. 今回説明した橋の形で設計が絞られているようだが、他の構造等比較していますか？ .. 4
- 問9. なぜ上流にある稚児橋は橋脚が無いのですか？ 4
- 問10. 橋の兩岸の道路幅員（20m）より千歳橋（15m）は狭いが拡幅しますか？ 4
- 問11. 橋の長さについて、今と同じ長さで良いのではないのですか？ 5
- 問12. 9月末で駐車場を閉鎖することだが、もう少し延期することはできませんか？ ... 5
- 問13. 駐車場は別のところに移転することはできませんか？ 5
- 問14. マンションの入り口に車が入れるよう配慮してもらいたいです。 6
- 問15. 川沿いの道路は、勾配がつきますか？ 6
- 問16. 橋の前後の道路排水が心配です。排水の改善を検討していただきたいです。 6
- 問17. 川沿いの道路から右折して反対車線に出ることは可能ですか？ 6
- 問18. 土地の所有者が反対したら工事はできないのですか？ 8
- 問19. 移転や補償などはどの程度進んでいますか？ 7
- 問20. 工事に伴う家屋の工損調査について、川から30mの範囲と聞きましたが、どのような根拠に基づいていますか？ 7
- 問21. 住民の意見を無視したまま工事を進めていくのではありませんか？ 7
- 問22. 工事の進捗や今後の計画について、情報公開を強化して欲しいです。 7
- 問23. 説明された内容のイメージが湧きません。 7

②工事中に関連するQ & A

- 問24. 工事中の騒音、粉塵等、現在考えられる懸念があれば教えてください。 8
- 問25. 工事中の通行止めについて、可能な限り短縮するよう努めて欲しいです。 8
- 問26. 桜橋のように片側ずつ通しながら施工出来ませんか？ 8
- 問27. 工事期間はどれぐらいですか？ 8
- 問28. 工事中の安全対策について、しっかり対応して欲しいです。 9
- 問29. 駐車場橋を撤去する際、兩岸の大きな範囲を更地にするのですか？ 9
- 問30. 工事中に新清水ハイツの横の市道は通れますでしょうか？ 9

本内容は令和7年12月1日時点のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

問1. 千歳橋よりも先に優先して架け替えすべき橋があるのではないのでしょうか？

河床を掘削して洪水を流す断面を拡げる工事を河口から大内遊水地辺りの 6.6km の区間で計画しています。この区間において、千歳橋は、他の橋と比べ特に橋桁が低く、令和4年9月台風第15号では洪水が橋桁にあたり水位の堰上げが生じたことから、一番優先度が高いと考えています。

問2. 川底を掘るために橋を架け替える、ということでしょうか？

洪水を流す断面を大きくし、川の流れをよくするために川底を掘ります。現在の千歳橋は川底を掘ると橋桁を支える橋台や橋脚が不安定になります。このため、現橋を撤去した後、川底を深く掘り下げるとともに、安定した新しい橋を整備します。

問3. 橋があるから洪水が氾濫するということではないと思いますが、いかがでしょうか？

現在の千歳橋は橋桁が低く、洪水が当たり水位が堰上がります。また、橋脚が現在4本ありますが、洪水が橋脚に当たっても水位が堰上がります。この水位が上がることで、巴川からの氾濫や、周辺の排水や支川が巴川に流入しにくくなることで起こる内水氾濫が発生すると考えています。このため、現在の基準に基づき橋桁の下空間を確保するとともに、橋脚は1本のみとし、洪水時の水の流れを良くします。

問4. 令和4年9月の台風第15号の際、大谷川放水路の一部が機能していなかったという話を聞きましたが本当ですか？

令和4年9月の台風第15号の際に大谷川放水路は、規則どおり放流し機能を最大限発揮し、計画している最も高い位置まで水位が上がりました。この結果、巴川本川から分流した直下流にある管理用の橋桁の下を目一杯流れていますので、機能は最大限発揮しました。

問5. 3月の説明会で橋の両端が約2m上がると聞き、高さを下げるよう意見しましたが、現在の検討はどのような状況ですか？

道路を基準の範囲内で下げられないか、下げた場合にどこまで影響するのか、右岸側の近接するマンションの前の道路形状をどうすることができるか、道路管理者である静岡市と協議し、その内容を周辺住民の皆様方に説明するための資料の準備を進めております。

資料の作成にあたっては、皆様方にわかりやすくお伝えしたいと考えており、お時間をいただいております。

問6. 現在提示されている案(橋の両端で約 2m上がる)から変わる可能性はありますか？住民の意見は反映されますか？

少しでも道路面を下げられるよう、道路や河川の国が定めた基準の範囲で検討しています。

問7. 大雨は数年に一度であるので、大雨の時だけ橋を上げる仕組みはできないか？その時は橋を通れなくてもいい。

洪水時に橋桁を上げ下げする構造は、万が一故障した場合、橋桁が上がらなくなるおそれがあるため、難しいと考えます。なお、治水上の目的ではなく、船が通るために計画的に橋を上げ下げする事例はあります。

また、橋を上げ下げするための大きな施設を橋の両端に設置する必要があり、更なる用地の確保も必要となります。

問8. 今回説明した橋の形で設計が絞られているようだが、他の構造等比較していますか？

国が定めた基準の範囲内で複数の案を比較検討し、近隣への影響等を最小限にすると考えられるのが、今回提示した最も橋桁を薄くする工法となります。

問9. なぜ上流にある稚児橋は橋脚が無いのですか？

川幅が千歳橋の架橋部よりも狭く、国が定めた基準では橋脚を設けることが出来ません。

※（参考）稚児橋の橋長 約 43m、千歳橋の現在の設計の橋長 約 74m

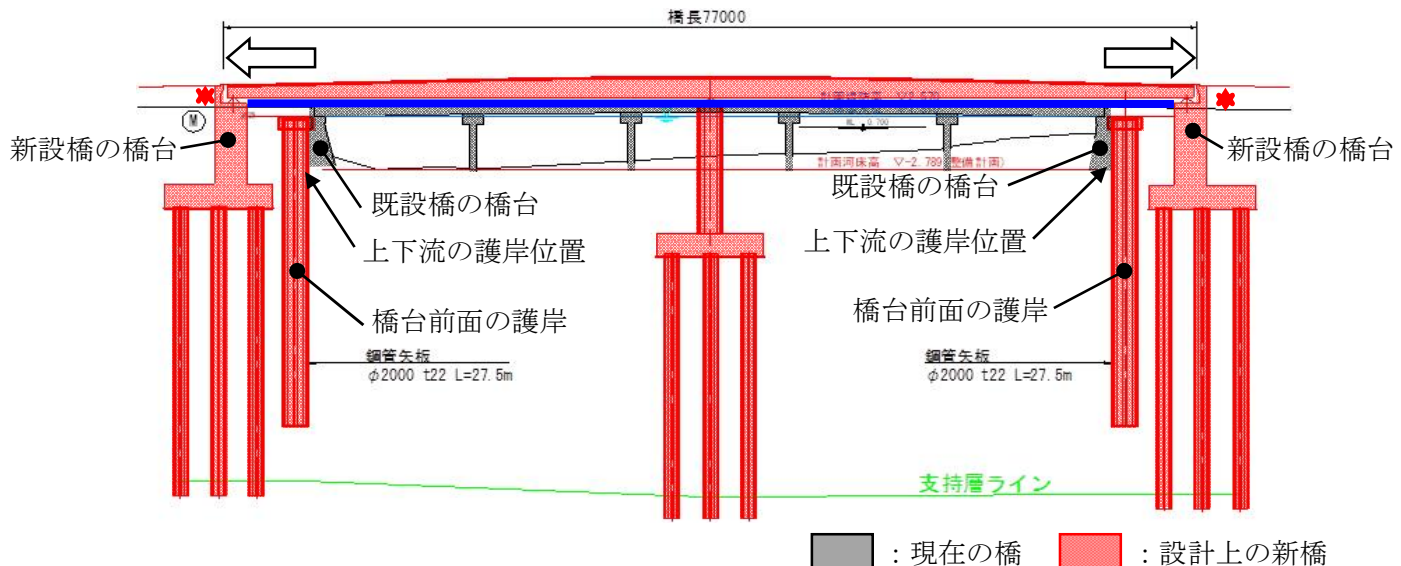
問 10. 橋の兩岸の道路幅は 20mありますが、千歳橋は 15mです。橋の幅員は拡幅しますか？

道路を管理する静岡市に確認したところ、マンションへの影響等を考慮し、上流側の拡幅は難しいとのこと。下流側については歩道を拡幅し、兩岸の歩道幅と同じ幅とする計画とされております。

問 11. 橋の長さが長くなるとのことだが、今と同じ長さで良いのではないですか？

現在の橋台は、上下流の護岸ブロック積擁壁の位置より前にあり、橋台の前面に護岸のブロック積擁壁等がありません。国が定めた基準によると、橋台を洪水から守るために橋台の前面に上下流と同じ位置に護岸擁壁が必要となります。

このため、護岸擁壁の後ろに橋台を設置することになり、橋の長さが長くなります。



問 12. 9月末で駐車場を閉鎖することですが、工事の予定の目処がついてからでいいのではないですか？もう少し延ばせられませんか？

駐車場橋は千歳橋と同様に河川内に多くの橋脚があることで水の流れを阻害するなど、治水上課題となっている箇所であるため、駐車場橋を撤去するだけでも効果があると考えています。工事の施工ヤードに必要な借地の調整が進めば、工事に着手していきたいと考えております。

この駐車場の利用者が多いことは承知しております。昨年度から千歳橋の架け替えに伴い駐車場橋をどうするか、管理する静岡市まちづくり公社と協議をした結果、使用を令和7年9月末までと決め、6ヶ月前にあたる令和7年3月には月極契約者にお伝えしました。なお、その決定に伴い、静岡市まちづくり公社から料金徴収等の業務委託を受けている業者との契約も9月末までとなっております。このため、これ以上の延長は出来ません。

問 13. 駐車場橋が無くなるということですが、別のところに移すことは出来ませんか？

駐車場は静岡市まちづくり公社が運営・管理しています。静岡市まちづくり公社に確認したところ、現時点で別の場所に現在の駐車場と同規模のものを作る予定はないと聞いております。

問 14. 橋の架け替えによって、道路が嵩上げされ、不便な生活を強いられます。マンションの入り口に車が入れるよう配慮してもらいたいです。

橋の桁が洪水を流すべきところの低い位置にあるため、治水能力を上げるためには橋の桁の位置を高くしなければなりません。このため、国が定めた道路や河川の基準に基づき、橋の端部で約 1.9m 現在よりも上がる設計となりますが、現在、基準の範囲内でもう少し道路面を下げられないか、検討しています。

マンションの前の歩道部について、どのような形状にするのがいいのか、いくつかの方法を検討しており、道路管理者である静岡市と県で協議中です。マンションの住民の方々には近々理事会を通して説明いたします。

問 15. 川沿いの道路は、平坦ですか、勾配がつきますか？

橋の両端が上がり、その道路面に接続させると勾配がつきます。道路管理者の静岡市と協議をしながらどの程度の勾配となるかを検討し、追ってご説明します。

問 16. 橋桁が上がることによって、その前後の道路排水が心配です。周辺の排水設備の改善について、検討していただきたいです。

排水系統について再度確認し、流すべき量と既存の水路の大きさが合っているのか等、確認します。今後、道路管理者である静岡市とも協議して検討してまいります。

なお、千歳橋架け替えを含む河川改修により、巴川本川の流れが良くなることで、水位上昇を抑えることも周辺の排水をし易くする方法の一つとなります。

問 17. 川沿いの道路から右折して反対車線に出ることは可能でしょうか。その辺もしっかり検討していただきたいです。

新しい道路形状を踏まえた警察との協議によります。

問 18. 土地の所有者が反対したら工事はできないのですか？

事業に必要となる土地の所有者の皆様が事業にご協力いただけない場合、工事に着手出来ません。

引き続き、土地の所有者の皆様にご丁寧に説明し、要望や意向を伺いながら対応を検討し、ご理解いただくよう努めてまいります。

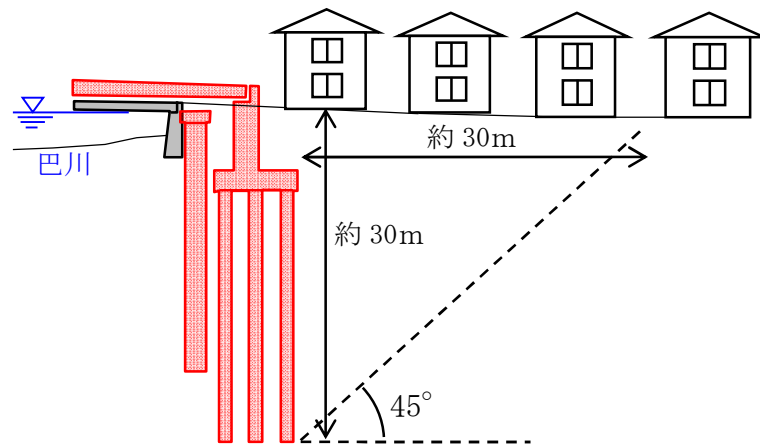
問 19. 移転や補償などはどの程度進んでいますか？

事業を進めるうえで影響が及ぶことが想定される建物等の調査を進めております。令和7年11月現在、左岸側（巴町側）の対象となる箇所は実施中であり、右岸側（千歳町側）については未実施です。

現地の調査実施後、その結果を基に移転や再築、用地のご提供の依頼等具体的に進めてまいります。

問 20. 工事に伴う家屋の工損調査について、川から30mの範囲と聞きましたが、どのような根拠に基づいていますか？

橋台の基礎杭が約30m地下まで打ち込みます。その場合の影響範囲を45°と設定し、約30mとしています。なお、最終的な調査の範囲については、再度検討します。

**問 21. 周辺住民の意見を積極的に聞き取り、反映していくべきだと思います。住民の意見を無視したまま工事を進めていくのではありませんか？**

現在、詳細な設計の途中段階であり、国が定めた基準も踏まえ、皆様方からいただいた意見を可能な範囲で反映してまいります。説明資料が整い次第、住民の皆様方にご説明いたします。

問 22. 工事の進捗や今後の計画について、情報公開を強化して欲しいです。

地元住民の皆様方への説明会だけでなく、このような回覧用のQ & Aを定期的に更新したり、静岡土木事務所のホームページや「X」等のSNSにも情報を掲載します。

問 23. 説明された内容のイメージが湧きません。

設計図面ではわかりづらいので、立体的な映像や動画を作成し、皆様方の理解が深まるよう努めてまいります。

問 24. 工事期間中に起こり得る騒音、粉塵によって洗濯物が干せない等、現在で考えられる懸念があれば教えて欲しいです。

既設の橋を撤去する際にはコンクリートを破碎するため、振動や粉塵が考えられます。また、橋台を作る際には、その周りに鋼矢板を打ち込む際の騒音と振動の発生が考えられます。

工事の実施に当たっては、対策を講じ、低減に努めてまいりますが、少なからず影響が出てしまうと考えております。工事の実施にあたっては、騒音や振動の対策もあわせ予め周知してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

問 25. 工事中の通行止めの期間について、可能な限り短縮するように努めて欲しいです。

千歳橋の撤去にあたっては、車両は全面通行止めと考えておりますが、歩行者や自転車は巴川を渡れるようにしたいと考えています。

これから橋梁工事の経験のある施工業者の意見を聞きながら工程の更なる短縮に向け再度検討しております。

問 26. なぜ、ここは全面通行止めにするのですか？桜橋のように片側ずつ通しながら施工することは出来ませんか？

駐車場橋を一時的に使用して車両を通す方法を検討しましたが、千歳橋と駐車場橋とは太いワイヤーのようなもので連結し強度を保っており、それを切ると強度が保たれないため、駐車場橋に車両を通すことは構造上出来ないという結果になりました。

新たに仮橋を設置した場合、現在の道路から仮橋へ接続する道路を整備しなければならず、より広い範囲で建物の補償や借地にご協力いただく必要が生じます。また、接続する道路は、かなり急なカーブを描いた道路線形になるため、速度を極端に落とさなければならず、慢性的な渋滞が予測されます。

さらに、仮橋を設置するための期間が必要であり、全体の工期がさらに2年程度長くなる見込みであることから、地域住民の皆様方への影響を少しでも抑えるためには、全面通行止めの方がよいと判断しました。

なお、全面通行止めにした場合、周辺の橋でどのように渋滞が増加するかシミュレーションにて検証しており、その結果については、改めて説明いたします。

問 27. 工事期間はどれぐらいですか？

令和7年3月の説明会で約8年間と説明しました。駐車場橋の撤去に3年、その後の本橋の架け替えに5年と想定していますが、今後、橋梁工事の経験のある施工業者の意見を伺うなど工期短縮に向け検討してまいります。

なお、本橋の架け替えの際に、全面通行止めとなります。

問 28. 工事中の安全対策について、しっかり対応して欲しいです。また、具体的な説明をしていただきたいです。

工事中の安全対策については、設計段階でも検討を行います。詳細には施工業者が決まった段階で、しっかり検討の上対応してまいります。

工事着手の段階では別途地元住民の皆様方に説明させていただきますので、そこでいただいたご意見等を施工業者と協議し、可能な限り対応するようにいたします。

問 29. 駐車場橋を撤去するためだけに、両岸の広い範囲を更地にするのですか？

駐車場橋を撤去する際には、その両岸に重機が行き来するための施工ヤードを造ることになります。

駐車場橋を撤去した後、駐車場橋跡に千歳橋の架け替えに必要な作業用構台を造ります。その構台に両岸の施工ヤードから工事用車両、重機等が入ることになりますので、千歳橋の架け替えにおいても、このヤードが必要になります。

問 30. 工事中に新清水ハイツ西側の市道(市道千歳町7号線)は通れますか？

工事中、一時期を除き通れます。

ただし、橋と南幹線の取付部の工事をする際やこの市道の嵩上げが必要な場合は、その工事をする際に一時的に通れなくなります。

今後、詳細設計を実施し、工事手順を計画して、どのタイミングでどれぐらいの期間通れなくなるのかを整理し、改めてご説明します。

【用語】

「洪水」：日常生活で使う『洪水』とは、河川から水が溢れ氾濫したり、土地や家が浸水することの意味ですが、本ニュースレターでは、『洪水』とは河川の水が増えることを表しています。

「橋台」：橋の取付部分（両端）にあり、橋の上部構造と背後の土砂を支える土木構造物です。

「橋脚」：橋の途中を支える柱のような構造物のことで、橋桁やその上を走る車などの重さ（荷重）を支えます。橋台を補う形で、橋の途中に設置されます。

「橋桁」：橋台、橋脚の上に架け渡され、人や車の通行部分である床版を支える主要な構造物です。橋面にかかる荷重を支えて、橋脚や橋台に伝える役割を担います。

「政令」：政令とは、法律を実際に施行するために内閣が制定する命令をいいます。

「工損調査」：公共工事や建設工事に起因して、近隣の建物や工作物に発生する可能性のある損害（事業損失）を把握・判断するための調査です。具体的には、工事が始まる前に建物の現状を写真撮影などで記録する「事前調査」と工事終了後に損害が工損によるものかを比較・判断する「事後調査」があります。これにより、工事前からの損傷なのか、工事の影響によるものなのかを客観的に判断し、損害が発生した場合の費用負担額の算定に使用します。

～お 願 い～

今後も、出来る限りこのニュースレターを有効に使い、情報の伝達や共有を図ってまいります。また、皆様方のご要望等を考慮して設計が進めば、説明会を実施したいと考えております。

今後ともよろしくお願いいたします。

**本事業に関して、ご質問、ご提案がありましたら、
下記までご連絡ください。**

発行・問合せ先

〒422-8031 静岡県静岡市駿河区有明町2番20号 静岡総合庁舎内
静岡県静岡土木事務所

河川改良課: Tel 054-286-9362 Fax 054-286-9398

Eメール: shizudo-kasen@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページは、静岡土木事務所内の「ともえランド」になります。

「ともえランド」で検索してください。

URL:

<https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/dobokujimusho/shizuokadoboku/1044558/1072344/1072579/index.html>

